

平成 31 年 1 月 18 日

HIRATSUKA KYOUKAIHOU

No.257

平塚協会報

発行所：公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部
発行責任者：小笠原 仁志



新年を迎えて

(公社)神奈川労務安全衛生協会
平塚支部
支部長 松野吉純
〈関西ペイント平塚事業所〉



新年明けましておめでとうございます。

平素より当協会の運営、各種事業に対するご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。また、平塚労働基準監督署をはじめ、関係官庁、諸団体ならびに会員事業場の皆様のご協力により、平成30年度の事業計画を順調に進めて来られましたことにつきまして重ねて御礼申し上げます。

さて、日本経済は、インバウンド需要や五輪関連による経済の需要喚起、企業収益や雇用の改善などで穏やかな回

復が続くとみられていますが、一方、米国の保護主義政策、アジア・中東の地政学的リスクなど先行きに対する不透明感は当面払拭できない状況にあります。このような取巻く環境変化に伴う雇用労働情勢の変化が予測される中、労務安全衛生の的確な推進が今後とも求められるものと思います。

取分け、平成30年度から厚生労働省策定の第13次労働災害防止計画がスタートしています。第12次労働災害防止計画最終年の平塚労働基準監督署管内の死傷者数は、最終目標386名（15%減）以下に対して433名（4.9%減）で目標値未達の状況でした。引続き、会員事業場におかれましては、安全に安心して働ける職場づくりのための労務安全衛生の普及・啓発を推進し、健康確保・ゼロ災害目指して取り組んで頂きますよう、宜しく申し上げます。

最後に、会員事業場の皆様のご発展とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

平塚労働基準監督署

署長 池田 有他

新年あけましておめでとうございます。

旧年中、(公社) 神奈川労務安全衛生協会平塚支部及び会員事業場の皆様方には労働災害の防止を始めとした労働基準行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございました。今年も引き続きよろしくお願いたします。

また、昨年は25年ぶりの横浜開催となった全国産業安全衛生大会が皆さまの多数の参加や支援により成功裏に幕を閉じたことも喜ばしいできごとの一つでした。

さて、本年は年号が変わる特別な年でございます。昨年6月29日に成立、7月6日に公布されました「働き方改革関連法」は本年4月1日から順次施行されますが、新時代の幕開けが「働き方改革の出発の年」となるというのは偶然ではないと思っております。

具体的な法律の内容は10月1日号に掲載させてもらっておりますので省略いたしますが、この「働き方改革」については、働く方々がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現するための改革とされ、「働き過ぎ」を防ぎながら「ワーク・ライフ・バランス」を実現し、「どのような雇用形態を選択」しても、待遇に納得して働き続けられるよう、また、治療と仕事の両立への取組みなど「多様で柔軟な働き

方を選択」できる社会とするものです。

ここしばらくは国の最重要課題と位置づけられ、当局においてもその趣旨や法律内容あるいは支援策の周知に努めてまいりますので、貴協会並びに会員事業場におかれましても、ぜひ積極的な取組みをお願いいたします。

一方、労働災害については、死亡者数こそ減少しているものの第三次産業の労働者の急速な増加や労働力の高齢化もあって、休業4日以上労働災害は、かつてのような減少は望めず、これまでと異なった切り口や視点での対策が求められています。

さらに、過労死やメンタルヘルス不調が社会問題としてクローズアップされ、胆管ガンや膀胱がんといった化学物質による重篤な健康障害の防止や、熱中症対策、今後増加が見込まれる石綿使用建築物の解体等工事への対策強化も必要となっており、今年度を初年度とした5か年計画である第13次労働災害防止計画にも盛り込まれているところですので、当該計画に沿った対策にも取り組んでいただければ幸いです。

最後になりましたが、今年も平塚支部及び会員事業場にとって幸多き1年となりますよう心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成31年 年間標語

健康・安全スクラム組めばみんなを実現ゼロ災職場

安全衛生祈願、経営首脳者セミナー

平成31年1月11日（金）、新春の青空天高く澄み渡る正午に、当協会の年頭恒例行事である安全衛生祈願が、秦野市平沢の出雲大社相模分祠で行われました。

今年も来賓として神奈川労務安全衛生協会本部より村下事業部長、平塚労働基準監督署より池田署長、川村安全衛生課長をお招きし、当協会支部長、3副支部長並びに4部会長をはじめ各会員事業場より75名参集しました。拝殿内では宮司さんの祈願、巫女の舞の後、玉串拝礼を執り行い、全員で1年間の安全と健康を祈願しました。

その後、隣接の出雲記念館へと会場を移して、経営首脳者セミナーが開催されました。

市川第一副支部長の開会の挨拶および松下事業部長来賓挨拶のあと、行政講演として、労働基準監督署の池田署長より「働き方改革関連法について」と題し、今年4月に施行される各関連法についてポイントをお話いただきました。

内容は、働き方改革の全体像から労働時間法制の見直し、雇用形態に関わらない公正な待遇の確保についてお話しされ、中小企業については2020年4月の施行と配慮はするものの、企業の労働環境整備が追い付かず実情としてなかなか難しいとのご見解を示されました。

続いて、特別講演として、元NHK科学・環境番組部専属ディレクターの北折様より「ガッテン流伝わる伝え方」と出して講演がありました。北折様は長年にわたってNHKの番組制作に携わり、常に視聴者の視点に立った番組作りにご尽力され、「ためしてガッテン」が放送された当時、他局に負けない高い視聴率をたたき出した敏腕ディレク

ターです。

講演は、ご自身が検体となって実験、検証されたダイエットの内容をメインにお話しされ、これまでテレビや雑誌などで知り得たダイエットの概念が覆される大変興味深いお話をいただきました。また、このお話の仕方も常に聞く相手の立場になって考えられ、いかに聞きたがる耳にするか重点に構成され、職場でも活かせる大変参考になる内容でした。

スタンレー電気 壬生 記



全国産業安全衛生大会 in 横浜

～平塚支部運営スタッフ活動報告～

10月17日（水）から19日（金）までの三日間「全国産業安全衛生大会 in 横浜」が神奈川で25年ぶりに開催されました。

全国から多くの方々が集まる会場の運営スタッフとして汗を流したのは、12支部から動員された役員さんたちです。平塚支部は34名が運営スタッフとして役員事業場から動員、リスクアセスメント/マネジメントシステム分科会会場（ロイヤルホール横浜）担当として2日間の対応に追われました。

会場整理、進行、受付、接待などなど分担し、想定外の

出来事にも全員で協力する中で、あらためて「平塚支部の絆」を感じた3日間でした。

事務局長 廣澤正子 記



コラム 備えあれば憂いなし

古河電気工業(株)平塚事業所衛生管理室 眞壁 亜紀子

新年あけましておめでとうございます。皆さんは、どんなことを思って新年を迎えましたか？私が思ったこと、それは「今年は穏やかな年であって欲しい」。なぜなら、昨年は、あまりにも自然災害の多い年だったからです。多くの方が亡くなったり、生活が一変したりしました。日本経済も大きな打撃を受けました。

平塚支部のある地域周辺は、一帯に及ぶ大きな自然災害経験は、近年ほぼないと思います。しかし、いつ起こるかわからないのが自然災害、一人一人が、地域が、企業が、備えていなければならないと改めて感じます。

産業保健職は、従業員の命を守る役割があります。それは、BCP（事業継続計画）にもかかわってきます。皆さんの会社でも、防災訓練やBCP策定をしていることと思いますが、本当にこれで大丈夫かなど不安に思っていないでしょうか？

来月2月5日に支部産業保健職委員会主催で、「企業における災害対応を学ぶ」と称した研修会を開催します。企業防災のスペシャリストを講師に迎えての研修です。ぜひ、一緒に企業における災害対応について学び、しっかりと災害に備えていきましょう。



雑感

『ぶらっと散歩でストレス削減』

(株)パイロットコーポレーション 平塚事業所 遠藤 富士男

新しい時代を迎える年になりました。平成時代に溜まったストレスを解消してスッキリした気持ちで迎えたいものです。

そこでストレスチェック結果レポートを再確認してみるとあなたのストレス反応の状態は、普通より少し高めでした。

しかし、仕事上でのストレスの原因となる因子については問題は見られません・・・と 毎回ファジーな結果です。

平成31年目変化ある流れ、毎年個人的にはかなりストレスが溜まっているものと思いましたが、意外な結果に(皆さんの中にもいるのでは?) そうなのかな? と思いません。

そこで個人的にストレスを溜めない方法に思い当たることが、無いかを考えてみました。色々考えた末に思い当たる事が“健康増進ハイキング”ではないのか?

その健康増進ハイキングとは、弊社行事で年1回秋に今

年で35回目になるハイキングでちょうど私が入社した頃よりスタートしています。

ある意味「健康増進」なの? と思う点もありますが参加者は、各々、自然の中での酒や、弁当を楽しみにする人、必ず行う大抽選会(特賞のネックレス)目当ての人など様々で県内身近で開催しています。また気の合う仲間と一緒に酒所や日帰温泉、味覚狩り、観光、ショッピングなど息抜きタイム、ストレス解消にと参加する人もいて定着しています。

個人的には、過去に訪れた場所が変化していることや、身近な場所で気付かなかったことが見つかる瞬間が好きで楽しく参加しています。思えばハイキング行事をきっかけに何も考えず電車やバスで“ぶらっと散歩”を楽しんでいます。

あれや、これや、なんだ、かんだと皆さんも多忙で時間が取れないと思いますが、何も考えない時間を有効にぶらっと散歩でストレス解消です。

荷役災害防止担当者講習会

平成30年11月19日(月)平塚市勤労会館中会議室にて、「荷役災害防止講習会」が開催されました。支部としては、初めての開催となり60名の方が受講され、荷役作業に於ける労働災害の現状と荷主の責務、陸運事業者の責務などの講義4時間が行われました。

陸運業に於ける労働災害は交通事故7%に対して、荷役作業は70%となっており、荷役作業の安全対策が必要となっています。

労働災害はクレーン・フォークリフト等により「転倒」「墜落・転落」「挟まれ・巻き込まれ」など多岐に渡り、労働災害防止は荷主、陸運事業者双方による契約時の役割分担の明確化と作業方法の把握等により、災害を防ぐ事が重要です。

今回、講義を受講された方には荷役作業従事者への指導による、労働災害防止を期待します。

(株)コベルコ マテリアル銅管 小山 記



編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって良い年であることをお祈り申し上げます。

ゆく年くる年。昨年は自然災害が目立ったような気がします。豪雨、台風、地震。暮れになっての夏日。昔もこんなだったかな? いや、やはりどこかおかしい。でも、いいことも多かった。思い出してください。平壤オリンピック、アジア大会、テニスなどでの日本勢の活躍、プロ野球、Jリーグの熱気あふれる戦い。日本中が応援していたと思います。スポーツは見るのもやるのもいいものです。

さて、今月も注目のスポーツが目白押しです。みんなでひいきのチームの応援に盛り上がり、初め良ければ終わり良し、の1年となるようがんばりましょう。

一方、今年は「平成」時代が終わり、新年号に変わります。ゴールデンウィークは10連休になるところも多いでしょう。休みが増えるのは単純にうれしいものです。有休消化の義務化も相まって、これからは休みの有効な使い方に知恵を絞る必要があると思います。そのためにもどうか家族とともども健康でありますように、と初詣で祈願する私でした。

(株)藤田電機製作所 小笠原 記